（様式6）

令和7年度　　林分条件調査表

森林管理署	宮城北部森林管理署
物件番号	1
物件名	森林環境保全整備事業（門前山国有林）

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均胸高直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量														最寄り市町村からの距離 km	備　考
															伐倒		集・造材		小運搬巻立				森林作業道作設		林地保全		土場作設等	砂利数量	薬剤散布（ｽﾐﾊﾞｲﾝ）	鉄板規格*枚数		
									本数	材積 ㎥	㎥/本 ㎥	N ㎥	L ㎥	計 ㎥	方法	数量 ㎥	方式	数量 ㎥	フォワーダ片道運搬距離 m	数量 ㎥	ｸﾞﾗｯﾌﾟﾙ付きﾄﾗｯｸ片道運搬距離 m	数量 ㎥	林地傾斜 緩・中・急	延長 m	2種編柵 m	緑化 ㎡	h	㎥	ℓ			
374は	水涵保	ス　ギ	52	保育間伐（活用型）	列状間伐（1伐3残）	5.75	25	16	1,775	322	0.18	93	7	100	全木	322	ﾌﾟﾛｾｯｻ	100	329	100			中								南三陸町役場 11.1	
375い1	水涵保	アカマツ	53	保育間伐（活用型）	列状間伐（1伐3残）	4.00	25	16	1,574	261	0.17	105	5	110	全木	261	ﾌﾟﾛｾｯｻ	110	519	110			中								11.1	
375い2	水涵保	ス　ギ	53	保育間伐（活用型）	列状間伐（1伐3残）	11.94	25	18	3,257	954	0.29	292	8	300	全木	954	ﾌﾟﾛｾｯｻ	300	492	300			中								11.1	
375い3	水涵保	アカマツ	53	保育間伐（活用型）	列状間伐（1伐3残）	7.04	25	16	2,763	461	0.17	101	9	110	全木	461	ﾌﾟﾛｾｯｻ	110	398	110			中								11.1	
375い5	水涵保	アカマツ	54	保育間伐（活用型）	列状間伐（1伐3残）	8.78	25	16	3,453	575	0.17	189	11	200	全木	575	ﾌﾟﾛｾｯｻ	200	679	287			中								11.1	
375い6	水涵保	ス　ギ	54	保育間伐（活用型）	列状間伐（1伐3残）	18.00	25	20	6,244	2,371	0.38	490	10	500	全木	2,371	ﾌﾟﾛｾｯｻ	500	486	1,182			中								11.1	
375い7	水涵保	アカマツ	54	保育間伐（活用型）	列状間伐（1伐3残）	4.14	25	16	1,629	270	0.17	75	5	80	全木	270	ﾌﾟﾛｾｯｻ	80	708	135	4,500	80	中								11.1	
375い8	水涵保	アカマツ	54	保育間伐（活用型）	列状間伐（1伐3残）	0.80	25	16	317	52	0.16	25	1	26	全木	52	ﾌﾟﾛｾｯｻ	26	198	26	4,500	26	中								11.1	
375い12	水涵保	アカマツ	54	保育間伐（活用型）	列状間伐（1伐3残）	0.37	25	16	150	25	0.17	12		12	全木	25	ﾌﾟﾛｾｯｻ	12	485	12	4,500	12	中								11.1	
375へ	水涵保	アカマツ	53	保育間伐（活用型）	列状間伐（1伐3残）	1.53	25	16	378	63	0.17	32		32	全木	63	ﾌﾟﾛｾｯｻ	32	109	32			中								11.1	
合計						62.35			21,540	5,354	0.25	1,414	56	1,470		5,354		1,470		2,294		118		3,620			16h	C-80 120㎥	8ℓ（希釈前）	6m×20枚 120日		

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
2 面積は伐採面積とする。
3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
　緩：0°～20°、中：20°～30°、急：30°以上
4 最寄りの市町村役場（支所含む）からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
5 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。
6 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。